

| | | | | |
|------|---|-----------------|-----|-----------------------|
| 校訓 | 真善美 | 平成31年度学校だより | 発行日 | 令和2年1月17日 |
| 教育目標 | 自主、自立、感謝の精神を抱き、 未来を拓く生徒の育成 —豊かな心、確かな学力、健やかな体を育てる— | 「荒中だより」 第28号 | 発行者 | 伊丹市立荒牧中学校 校長 難波 重之 |

1月17日を迎えて

阪神淡路大震災から25年が経ちました。私たち阪神間に住む者にとって、1月17日は特別な日です。私は地震の時、北中に勤めていました。北中の校舎はひどく損壊し、しばらくの間、小学校の空き教室を間借りして授業をする経験をしました。しかし、生徒の皆さんはもちろん、先生の中にもまだ生まれてもいなかった人もいます。25年とはそのように長い時間なのです。

毎年昆陽池公園で『犠牲者追悼のつどい』が行われています。先日そのつどいを主宰している方とお話をする機会があり、その方が、「25年とひと言でいっても色々な方がいらっしゃるのです」と、前置きし次の話しをされました。地震から数年たってから『追悼のつどい』に、地震後初めて参加された方が、「やっと来ることができました。私にとっては今年が1年目です」とおっしゃったそうです。察するに、その方は大事な人を亡くされて、現実をなかなか受け入れられなかったのではないのでしょうか。数年かかって、やっと気持ちに整理が付き受け入れられるようになったのだと思います。阪神淡路大震災では、6000人を超える方々が亡くなりました。中には地震から時間が止まってしまい、何年もかかって気持ちに整理がついて時間が動き出す人もいるのです。だから、25年といっても、そこには本当に色々な人の思いがあるのだなあと改めて思いました。

「災害は忘れた頃にやってくる」と言います。地震はいつ起こるかわかりません。寝ているとき、学校にいるとき、ショッピングモールなど人が集まるようなところにいるとき



かもしれません。大事なことは、自分の命は自分で守ること、そして、起こったらどう行動すればよいかを常に考えておく、わかっておくことです。「備えあれば憂いなし」と言います。しっかり備えておきましょう。

きらめけ!!荒中生!!

男子バスケット (兵庫県中学校バスケットボール新人大会 12/21・22・26)

第3位

バレーボール (伊丹市中学校冬季大会 1/11・12)

女子 **優勝**

男子 **準優勝**



自信と誇りを持てる学校を創ろう!!